

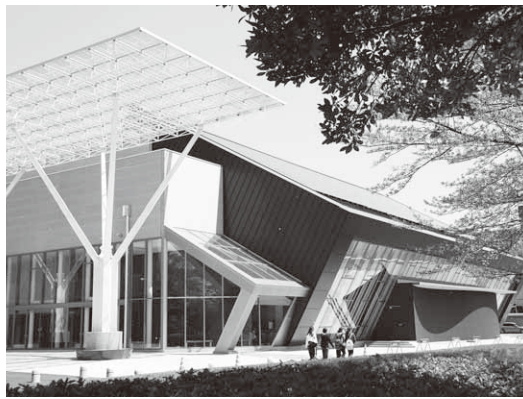


新展示ホール愛称決定

高崎卸商社街(協)

高崎卸商社街協同組合(松本修平理事長、組合員116人)では、本年2月より本格稼働を始めた新展示ホールの愛称について広く公募した結果、1300点もの多数の応募が集まり、厳正なる審査の結果、「ビッグキューブ(BIG CUBE)」が採用となった。愛称の意味・考えた理由については「大きい立方体。展示ホールとして使い勝手に優れている」とのことであり、高崎問屋街の新たなシンボルとイメージにマッチした親

しみやすいネーミングであることが選定理由。今後、「ビッグキューブ」が新展示ホールの名称として親しまれるよう積極的にPRを行っていくとのこと。



新展示ホール「ビッグキューブ」

バイオマスエネルギーの可能性を学ぶ

群馬県旅館ホテル生活衛生(同青年部)

群馬県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部(横手誠二青年部長)では、5月14日、利根郡みなかみ町「ひがきホテル」にて講習会を開催した。「足元にある眠れる宝の山」をテーマに富士通総研経済研究所上席主任研究員梶山恵司氏



講師 梶山氏

より、バイオマスエネルギーの利用と展望について学んだ。再生可能エネルギー先進国のドイツでは、木質バイオマスを効率よい熱エネルギーとして活用し、その結果、林業が国や地域を支える重要な産業となり、多くの雇用の受け皿となつていと説明。渋川地域には、バイオマス熱の潜在的な需要先として伊香保温泉街があり、供給元として渋川県産材センターがあるため、総合的なバイオマスサプライチェーンの構築を目指すことが可能であると語った。

創立50周年記念式典・祝賀会開催 群馬県自動車車体整備(協)

群馬県自動車車体整備協同組合(福島行孝理事長、組合員143人)では、5月24日、前橋商工会議所

会館にて、創立50周年記念式典・祝賀会を開催し、組合員や関連企業が節目を祝った。

式典で福島理事長は「本組合は東京オリピックが開催された昭和39年に設立されたが、全国的にも50周年を迎えた自動車車体整備組合は少ない。モーターゼーションという大きな転機と共に歩み、平成を迎え、自動車車体整備は、より高度な技術力が必要となった。これからは若い人達と手を組んで今後の事業に取り組みたい」と挨拶した。



福島理事長

来賓として臨席した関東運輸局群馬運輸局高橋哲哉支局長らが祝辞を述べた後、歴代の理事長へ感謝状を贈呈すると共に、勤務30年以上の優良永年勤続者に対し表彰状を授与した。祝賀会では、フラダンスのステージが花を添えた。